

事前評価個表

整理番号	3
------	---

地域（地区）名	しりべし いぶり 後志胆振	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	しままきむら 島牧村ほか17市町村
事業実施期間	H30 ～ H34 （5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道の中央から南西部に位置し、後志総合振興局管内中南部と胆振総合振興局管内西部を区域としており、東部には鷲別岳、オロフレ岳、ホロホロ山が南北に並び、無意根山から積丹半島の脊梁を堺に、南部は内浦湾から狩場山を堺に日本海に接している。</p> <p>本地区の総面積440千haのうち、森林面積は323千ha（森林率73%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は47千ha（人工林率24%）で、トドマツが49%、カラマツが30%を占めており、齢級構成はⅤ～ⅩⅡ齢級が69%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は409千mで、公道等を含む林内道路密度は11.9m/haとなっており、このほかに林道の支派線として作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち21千ha（人工林の44%）がⅦ齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、後志胆振地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：24,908.61 ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：12,584 m 林業専用道</p> <p>総事業費：5,486,221千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.16 (総便益 (B) = 39,931,379千円、総費用 (C) = 9,605,167千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、国土保全等の機能はもとより、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

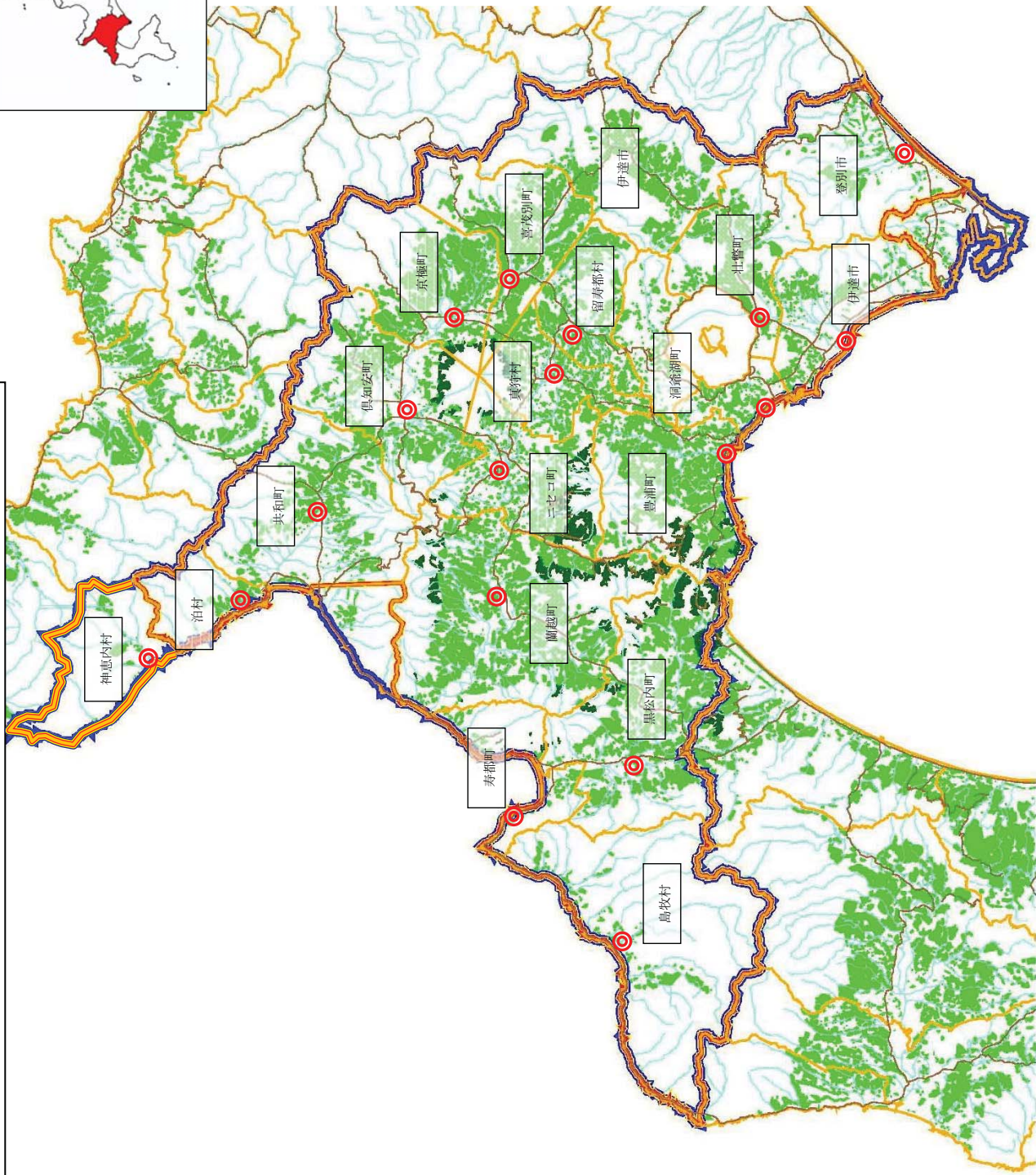
都道府県名：北海道

地域(地区)名：後志胆振^{しりべし いぶり}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	8,295,948	
	流域貯水便益	2,958,175	
	水質浄化便益	6,274,619	
山地保全便益	土砂流出防止便益	14,923,415	
環境保全便益	炭素固定便益	3,238,654	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	6,431	
	木材利用増進便益	1,873	
	木材生産確保・増進便益	3,613,082	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	619,182	
総 便 益 (B)		39,931,379	
総 費 用 (C)		9,605,167	
費用便益比	$B \div C = \frac{39,931,379}{9,605,167} = 4.16$		

森林環境保全整備事業 後志胆振地域（北海道）



凡 例	
計画区界	— (Blue line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)
国道・主要道	— (Brown line)
河川	— (Light blue line)
市町村界	— (Orange line)
市町村役場所在地	◎ (Red circle)
一般民有林 (人工林)	■ (Light green)
道有林 (人工林)	■ (Dark green)